

回路板 B

中学校、高等学校の生徒実験用で、実験に必要な部品及びその格納箱と、箱ふたの上面に端子を設けた回路板とから構成されています。

1. 製品の構成

- | | |
|-----------------------|-----|
| ① 部品収納箱兼用回路板 | 1 個 |
| (幅250×奥行170×高さ40) | |
| ② 乾電池ホルダー | 2 個 |
| (単二乾電池 1.5V 用) | |
| ③ ランプソケット | 2 個 |
| (豆球ランプ 2.5V, 0.3A つき) | |
| ④ スイッチ | 1 個 |
| (ナイフスイッチ) | |
| ⑤ 電気抵抗体 | 2 個 |
| (20Ω, 40Ω 各 1) | |
| ⑥ リード線 | 8 本 |
| (両端ミノムシクリップ付) | |

2. 関連機器

- | | |
|--------------|-----|
| ○ 単二乾電池 | 2 個 |
| ○ 直流電圧計 | 1 個 |
| ○ 直流電流計 | 1 個 |
| ○ ハンドジェネレーター | 1 個 |
| ○ 棒状温度計 | 1 本 |

3. 使用方法

3.1 回路の構成

部品である乾電池ホルダー②、ランプソケット③、スイッチ④、電気抵抗体⑤は、それぞれバナナチップ

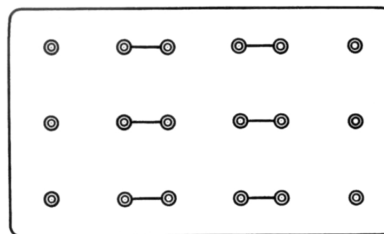


図 1



図 2

で回路板①上の端子に挿入すれば、電気的な接続が可能になります。

図 1 は回路板上の端子と、端子相互の接続を示します。接続されていない端子間には、縦・横の向きに関係なく、前記部品(②③④⑤)を挿入することができます。

必要を生じた端子間の接続や、回路中で使用するメーター類の接続には、リード線⑥を使用して図 2 のよ

うにします。

3.2 電気抵抗体について

回路中の抵抗として利用する他に、電流による発熱実験にも使用できます。

抵抗体の中に棒状温度計の先を入れると、乾電池(3V)でも2~3分

で上昇が確認できます。

熱容量の関係で、定量実験には不向きですが、ハンドジェネレーター(No.135-200)を併用すると、仕事と熱の交換を体感を通して印象づけられます。

株式会社 島津理化

〒136-0071 東京都江東区亀戸6丁目1番8号

TEL. (03) 5626-6600 URL : <http://www.shimadzu-rika.co.jp>

本製品の技術のお問合せは、コールセンターまで

フリーダイヤル 0120-376-673 (携帯電話、PHSではご利用になれません。)

受付時間 平日9:00~12:00, 13:00~17:00

e-mail : soudan@shimadzu-rika.co.jp FAX : (075) 823-2804

M134875D0908TY010

2009.08.10TD (E-666)
